



# 学校だより

令和6年1月10日  
横浜市立仏向小学校

1月号

## 子どもの安全、安心を願う

校長 大嶋 智子

令和6年、明けましておめでとうございます

元旦の能登半島地震、2日の羽田空港衝突事故・・・と、年明け早々の災害事故緊急報道に、全国が震え上がりました。寒い中被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

災害は、平常の生活を過ごしている中、突如やってきます。最悪の被害になるのか、最小に収められるのかは、「日頃の備え」と「瞬時の判断」によって大きく左右されることを、被災報道を目の当たりにした我々は思い知らされました。そして、横浜で大災害が起きたら・・・はたして自分は？ 学校の体制は？子どもたちの安否は？地域は？・・・どんな状況を想定して、どんな動きをするのだろう・・・と、頭の中を駆け巡りました。

不安は尽きませんが、重要なのは、連携する「人」と、正しい「情報」をいち早く集めることであるように思えました。羽田空港では、乗客乗員全員の避難と安否確認がいち早く行えたことは、「日頃の訓練」と「瞬時の判断」のおかげでしょう。我々大人は子どもたちを守るために、この教訓を肝に銘じ、日々の安全危機管理に生かしていかなければなりません。



12月、地域の自治会館で行われた餅つきに参加しました。たくさんの方が集まり、もち米蒸しの湯気と匂いに囲まれ、ペタン、ペタンと餅つきが手際よく行われていました。つき立てのお餅をその場で味わったり、お世話になった方々のお宅にもお届けしたりするのだと聞きました。地域で久しぶりの開催とあって、準備や手順の継承のご苦勞は一方ならぬものだったことでしょう。しかし、人が集まり、人がつながるっていいな、気持ちがポカポカ温かくなり、大切なことだなと思った年末でした。

「人のつながり」は、楽しい行事やイベントだけではなく、災害時にこそ、顔の見える関係が試されるのかもしれませんが。コロナ禍以降、中止や簡素化といった様々な見直しが進められる中であっても、安全につながる事柄は、地域でも学校でも疎かにせず、力を入れていかなければなりません。学校事故、交通事故、不審者、犯罪被害、地震、火災、風水害、感染症・・・。「行ってきます!」から「ただいま!」まで、各ご家庭が安心して子どもたちを仏向小学校へ預けていただけるよう、教職員一同、年頭気持ちを新たにし指導に取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

### 【創立60周年 実行委員会について (お知らせ)】

仏向小学校は、来年度創立60周年を迎えます。計画にあたり、第1回学校運営委員会でご承認をいただきました次の方々に、60周年実行委員をお願いし、相談・準備を進めております。(敬称略)

《委員長》 根本稔(学校運営協議会委員、放課後キッズクラブ理事長、仏向地区連合町内会長、睦ヶ丘自治会長)、

《委員》 山本圭子(放課後キッズクラブ副理事長、元PTA会長 50周年実行委員)、

水信理恵(元PTA副会長 50周年実行委員)、沼澤遥(元PTA会長)、高橋ゆかり(現PTA会長)、

渡部梓、森川郁子、高橋ゆり、甲斐歩美(学校・地域コーディネーター)

今後、1年をかけて、児童中心の周年記念行事を計画し、児童、保護者、地域の皆さまと共に、本校教育活動の充実と発展に取り組んでいきたいと考えております。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。